

第 108 号

2015 年 9 月

ラ・ルーラ通信

<発行>

中部学院大学

子ども家庭支援センター

〒504-0837 岐阜県

各務原市那加甥田町30-1

TEL058-375-3605

fax058-375-3609



親子の育ちあい

中部学院大学短期大学部
幼児教育学科 准教授 平松喜代江

皆さん、今年の夏はどのように過ごされましたか。昨年に比べて暑さが増して、乳幼児さんのスキンケアなど気を配られることが多かったのではないのでしょうか。

9月に入ると、暑さもしのぎやすくなり少し涼しい秋風を感じながら、親子でスキンシップをとって、絵本を読むのはいかがでしょうか。

私の好きな絵本作家長谷川義史さんの著書のなかに「おへそのあな」という絵本があります。お母さんのお腹のなかにいる赤ちゃんから見た世界を描いています。生まれてくる赤ちゃんを待ち望む家族の様子も描かれており、家族それぞれの角度からお互いの出会いを楽しみにしている心温まるお話しです。

さて、赤ちゃんには胎内記憶といって、もうすぐ出産という時期なのか、記憶をもつ時期は定かではありませんが、赤ちゃんの耳が聞こえ始める頃には記憶があるとも言われています。全く記憶がないという場合もありますし、しっかりと記憶をもっていることもあるそうです。

そこで、私の娘の胎内記憶から子育てについて考えたエピソードをご紹介します。

私には、1人娘がありますが、仕事と子育ての両立はとにかく時間がなく、慌ただしい毎日でした。そんな私と娘がゆっくり向き合える唯一の時間が、入浴の時間でした。その時、どのような話がきっかけだったのか覚えていませんが、「ママのお腹のなかにいた頃」の話になりました。

私は、出産の2週間前までバタバタと仕事をしていましたので、お腹のなかの居心地はさぞ良くなかったであろうと思います。

娘は私のお腹のなかにいた頃のことをこんなふうに話してくれました。

「暗くて、冷たくて、早くここから出たいなあと思っていたよ。」

「そしたら、出口の方が明るくなったから私もよいしょ、よいしょって一生懸命に明るい方へはっていったんだよ。」

この話を聞いて私は「はっ」とさせられました。今まで、子育ては自分ひとりでとても辛いと感じていましたが、子育ては私一人ではなく、親と一緒に子どもも一生懸命に頑張ってくれているのだと感じました。そして、私は「生まれてきてくれて、ありがとう。あなたも一生懸命に頑張ってくれてくれたんだね。」と娘をぎゅっと抱きしめました。「うん。わたしもがんばったんだよ。」という娘と笑顔で見つめ合いました。

それ以来、子育てがうまくいかない時は、この娘の話を思い出すようにしています。すると、イライラした気持ちが「この子も頑張っているんだなあ」と思うと、なんだか表情が和らいでにっこりして待つことができました。

皆さんも、子育てに息が詰まり苦しいと感じた時、どうぞこの話を思い出して下さい。子どももお母さんの顔を見て、一生懸命に育っています。「親子で一緒に育っていく」まさに「親子の育ちあい」なのではないでしょうか。そして、お腹のなかの赤ちゃんにもぜひ、たくさん話しかけてあげてください。お母さんやお父さんの声を一生懸命に聞いて、きっと皆さんに会える日を赤ちゃんも楽しみしていると思います。

こんなふうに、私は子どもに育てられながら、子どもと共に成長し、現在母親歴14年目です。娘は、手こぞ離れましたが、まだまだ目が離せられない年頃です。小さな変化を見逃さないようにほどほどの距離感を保ちながら、一緒に育っていきたいと思います。

参考：長谷川義史『おへそのあな』BL出版、2006年。

“子育て実践プログラム” 開催報告と今後の予定



「ラ・ルーラ子育て実践プログラム」は子どもを生き育てる喜びや、発達支援のあり方など様々なプログラムを、専門性豊かな大学教員やそれぞれの分野の専門家が講義・講演・ワークショップなどいろいろな形で開催しています。

後期も親子で一緒に楽しめる内容のものから講演など多種多様です。講義・講演の場合は同室で保育士が託児も行います。どうぞお気軽にお問い合わせ・お申し込みください。

(電話 058-375-3605)

「音楽とともに
子育てを」
幼児教育学科
岡田泰子准教授



「英語の苗床を作りましょう」
中部学院大学短期大学部
片桐多恵子学長

“子育て実践プログラム” 後期の予定

日時	講座名・講師名	内容
9月8日(火) 11:00~ 12:00頃	「一人四役“ケセラセラ”子育て」 幼児教育学科准教授 佐藤 由紀子	幼稚園教諭・嫁・妻・母として、無我夢中で過ごした子育ての時期の体験をとおして、皆さんとやりとりをしながら、子育てに大切なことは何かを一緒に考えていきたいと思っています。
9月29日(火) 11:00~ 12:00頃	「理科好き 自然好きな子どもを育てること」 教育学部子ども教育学科講師 山崎 宣次	理科嫌いの子供が多いと言われていました。最近の調査でノーベル賞の影響が将来なりたい職業に男児も女児も「研究者」というのが挙がってきました。理科好き自好きな子どもはどうか、そしてどのように育てたらいいのかについて考えてみたいと思います。
10月 (調整中)	教育学部子ども学科助教 明石 英子	(調整中)
11月14日(土) 11:00~ 12:00頃	「自然の中で子育て散歩」 ～学びの森でネイチャーゲーム～ 幼児教育学科准教授 有川 一	ネイチャーゲームは、身の回りの「自然の息づかい」に気づくためのきっかけづくりになります。ちょっとしたアイテムを準備しますので、それを使って気軽に自然に触れてみましょう。お子さんを連れての毎日の散歩が新鮮なものになりますよ。
12月3日(木) 13:00~ 14:00頃	「親子体操 コーディネーショントレーニング」 教育学部子ども教育学科准教授 平井 博史	「子どもの運動能力は親が高めましょう！」が目標です。家庭でも実施ができるような内容を多く紹介します。親も子も汗をたくさんかいて運動してください。親子で楽しみましょう。
1月27日(水) 11:00~ 12:00頃	「子育てはたいへん！みなさんと考える 子どもの『上手な』ほめ方しかり方」 幼児教育学科准教授 堀 建治	子どもを抱える保護者にとって子育ての悩みはつきまません。大声で子どもを叱ってしまう、悪いところばかり目が奪われてしまう、拳句にがみがみ言う自分自身に対して自己嫌悪。ついつい自分自身を見失いがちになる子どもとのかかわりの中で「上手な」ほめ方叱り方を中心により良い子育てについてみなさんと悩みを語り思いを共有しながら一緒に考えていきたいと思っています

注：都合により日時の変更や内容が若干変更になることもあります。

ラ・ルーラでのひととき

制作コーナーでの遊びの広がり

ラ・ルーラ内の環境は、子どもたちの遊びや様子によって変化させており、その中で週末から翌週の始めまでは制作コーナーを充実させています。その環境も少しずつ定着しこの頃では「土曜日は思い切り制作ができるから(子どもが)嬉しくて…」とそれを目当てに遊びの来るお子さんも多くなってきました。

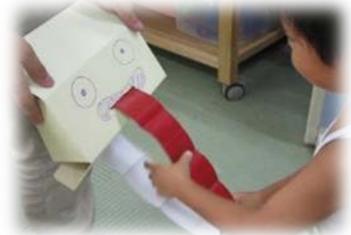
8月末のある土曜日のこと

朝一番に遊びに来てくれたのはA君B君兄弟とパパ。車などのおもちゃで遊ぶもののいつの間にか二人とも制作コーナーへ行き、いろいろな廃材がたくさん入っている大きな箱から二つ三つ箱を選び出し早々に制作開始です。お兄ちゃんのA君は箱を組み合わせてはテープで留め思いを形にし始め、弟B君はハサミを使ってチョキチョキ切りに夢中。二人ともパパと一緒にずっと集中して取り組み、とても楽しそうでした。

午後からはC君とDちゃん兄妹とパパとママが遊びに来てくれました。ここでもパパが大活躍。何気なく作った作品にC君は大喜びで遊び始め「こんなに楽しんでくれるならもっとしっかり作れば良かった」と苦笑するパパの優しい笑顔が印象的でした。

夏休みのある日のこと

制作コーナーを充実させる日は、より遊びが楽しくなるように、ままごとのおもちゃは反対に少なくしてあります。そして今は、ままごとの野菜などのおもちゃは、必要な分だけ保育士が管理する「お店」に買いに来るようにしそのやりとりを楽しんでいます。そんなある日、4～5歳の女の子たちは2台ある野菜棚を利用して自分たちでお店屋さんごっこを始めました。「いらっしゃい！いらっしゃーい！」「ピザですか？ちょっとお待ちください」とやりとりを楽しみながらお皿に思い思いの品を並べてはお店屋さんごっこを実に楽しそうにずっと遊んでいました。



親子で一緒にクッキング

—中秋の名月“ダンゴ作り”—



「レンジでチン！」として簡単にすぐ出来るご馳走の種類も豊富で手軽ですが時にはお子さんと一緒に作ってみませんか？「作って食べる」という作業はとても楽しく幸せなひとときです。構えてしまうと大変そうですがまずは簡単な、ダンゴ作りから初めてみませんか？粘土や泥んこ遊びの感覚でグチャグチャとこねて丸めるだけです。是非試してみてください。

白玉団子の作り方

材料：【白玉粉 100g・豆腐 ミニパック1個】

- ① 材料を混ぜ合わせ、丸めてダンゴを作る。
- ② 鍋に湯を沸かし、ダンゴを入れ、浮かび上がってきたら取り出し、冷水に入れる。
- ③ ダンゴにきな粉などをまぶして食べる。



夏野菜の収穫

畑のサークルの学生と一緒に



学生たちが新しく立ち上げた「畑のサークル」が今年は大活躍！彼らの誘いによって何度も夏野菜の収穫を楽しみました。

プチトマト・ピーマン・ナス・オクラ・ジュウロクササゲなど、その時々実っている野菜をみんなで採りました。学生が世話をしている畑ですから、野菜苗の枝は伸び放題で、生い茂った葉っぱの中から野菜を見つけるのも至難の業です。「あっ！トマト見つけた～！」「あーこれは虫が食べてるーっ！」「OOちゃん。緑のトマトはまだ採っちゃダメだよ」とおしゃべりも弾んで楽しそうです。時には20cmほどのオクラを見つけて「えっ？これオクラ？」とびっくりしていたり、足場の悪い畑でドスンとしりもちをついてしまっても何だか楽しそう…。採り立てのプチトマトを、



早々にお弁当と一緒に食べている子もいました。

自分たちで採った野菜はきっと格別な味がしたことでしょう。





＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

10 月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4 休み	5 休み	6	7	8 ママと遊ぼう 11:00～11:45	9	10 作って遊ぼう 11:00～
11 休み	12 休み	13 1:00～ お母さんのための リフレッシュ講座	14	15	16 図書館読み聞かせ 11:00～	17 たのしみん祭 (関キャンパス)
18 休み	19 休み	20	21 みんなで遊ぼう 11:00～11:45	22	23	24
25 休み	26 休み	27	28	29 赤ちゃん集まれ 11:00～11:45	30 10月の誕生会 12:30～13:00	31

* 毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

* 各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

10月の行事 * 内容紹介

8日 ママと遊ぼう (1～3歳児対象) 旧：にこにこ広場 新聞紙で遊びます。

10日 作って遊ぼう 飛行機作り (紙や廃材を使って飛行機を作りましょう)

13日 お母さんのためのリフレッシュ講座 「斜め掛けバック」
お手持ちの布を使って簡単なバックを作り、紐をつけたら出来上がり！
基本の形を覚えたら簡単です。後は大きさを自由に変えて親子でお揃いバックはいかがでしょう。

16日 移動図書館・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

17日 たのしみん祭 (関キャンパス) 関キャンパスにて大学祭に参加します
バルーンアートを一緒に作ったり、手作りおもちゃの展示もあります

21日 みんなで遊ぼう (2～3歳児対象) 旧：げんき広場 散歩 (戸外遊び)
隣接する「学びの森(自然公園)」へ自然散策をしながら遊びに出かけます。

29日 赤ちゃん集まれ (0歳児対象) 親子ふれあい遊び & 交流

30日 誕生会 10月生まれのお友達を みんなで祝います

2・6・16・20・30日ランチタイムコンサート 吹奏楽部員 (学生) による ミニコンサート
学生の授業の都合で日時が変更になる場合があります。お問い合わせください。

尚、各行事・催しは定員 15～20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

お問い合わせ先 電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609